

ドクターに聞く 新型コロナウイルス感染症 Q & A

長引く新型コロナウイルス感染症の拡大状況について不安になることがあるかもしれません。今回、堺市立総合医療センター感染症対策センター長・西尾先生に変異株などについて解説していただきました。



堺市立総合医療センター
感染症対策センター長
西尾 智尋さん

Q ワクチンを接種すれば感染しませんか？

A 接種を受けた方の発症予防効果は高く、重症化や入院は9割以上抑えられているとの報告があります。逆に言えば、接種を完了した方でも重症化や感染の可能性はあり、ワクチン接種で100%安全になるわけではありません。特に変異株出現後は、ワクチン接種済みでも感染してしまうブレークスルー感染が時々みられます。

Q 重症化するリスクが下がるのであれば接種後にマスクを外そうと思うのですが。

A ワクチン接種者が感染した場合、未接種者と比べて周囲に感染させる力は同等との報告もあります。症状なく感染している人は、なかなか検査をする機会がないため気付かないまま他人にうつしてしまう危険性が高まります。自分のためだけでなく、知らないうちに周囲の大切な人を感染させることがないように、感染予防を引き続き徹底する必要があります。

Q デルタ株といままでのウイルスとどう違いますか？

A デルタ株のウイルス排出量は、従来株の約1000倍で、水ぼうそう並の感染力があると言われています。水ぼうそうは同じ部屋にいたらうつるものですから、デルタ株はこれまでのコロナウイルスの延長ではなく、別次元の感染症ととらえる必要があります。

Q デルタ株に対しての感染予防はどうすればよいですか？

A 変異株でも、従来の感染対策は変わりません。感染力の高いデルタ株に対しては、より一層強い意識を持ってマスク、手洗い、3密を避けることを徹底する必要があります。また、マスクを触ると手からマスクにウイルスがついてしまうので、できるだけ触らないようにすることが大切です。家庭内での感染も増えています。食事などの家族が集まる場面では特に意識して換気を行いましょう。

Q コロナはしばらく続きますか？

A 感染の流行が続けば、新たな変異株が生まれてしまい、収束させることが厳しくなります。ワクチン接種が進むことと感染予防を一人ひとりが継続して徹底することで、感染者の数が減れば変異株が出てくる確率も下がります。コロナ疲れをして慣れてきた感がありますが、一人ひとりが感染しない・させない意識を強く持ち、感染の収束をめざしましょう。

感染リスクを下げる包囲網

ウイルスへの攻撃準備ができます



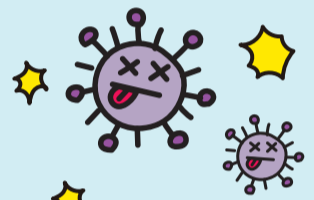
基本的な感染対策をより丁寧に



マスクで飛沫を吸い込む量が抑えられます



十分な人との距離・換気でウイルスを遠ざけます



せっけんやアルコールはウイルスを無毒化させます

西尾先生が答えます
大学生からのワクチンに関する疑問
こちらから動画でご覧になれます→



体調不良のときは 無理せず早めにご相談を



新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐには、感染が疑われる方を早期に検査し、陽性者を特定することが重要です。ワクチン接種の有無にかかわらず、発熱・せき・体がだるい・のどに違和感があるなどの症状があるときは、たとえ軽度であっても人との接触を控え、かかりつけ医やお近くの医療機関に、まずはお電話でご相談ください。



かかりつけ医やお近くの医療機関に
必ず事前に連絡してから受診しましょう

医療機関が見つからない場合、下記にご相談ください

新型コロナ受診相談センター

☎228-0239 FAX222-9876

長引くコロナ禍で、様々なご不便が生じているにもかかわらず多大なご理解とご協力をいただいています市民の皆様、多くの方の命を守り、感染拡大を防ぐために最前線で奮闘されている全ての皆様に心から感謝します。

皆様のおかげで、9月に入り堺市内で新たに陽性が判明する方は減少傾向です。また、重症となる方も第4波に比べて大幅に減っています。これは堺市では65歳以上の9割を超える方が、接種対象者全体では約6割の方がワクチン接種を終えた効果と考えます。

本市では10月末までにご希望の皆様にご接種完了できる体制を整えています。現在、コールセンターにて予約可能な医療機関等をお伝えする「ワクチンアシスト」を実施中ですので、未接種の方はぜひご利用ください。

さて、今月号から「広報さかい」のデザインを一新しました。これまで以上に気軽に手に取って読んでいただける紙面にするための、平成19

年以來の大幅な変更です。全ページをカラーで、日々の暮らしの大切な情報や市の注目施策をより分かりやすくお伝えし、もっと知ってほしい堺のあふれる魅力の特集も拡充します。

リニューアル後の初めての特集記事は「スマートシティ」です。新しい技術やサービスを積極的に導入して皆様の生活がさらに便利・快適になるよう、堺市では企業や大学にご協力いただいで多くのプロジェクトを進めています。先端技術による健康増進や移動の支援、見守りサービスを体感できる事業も実施しますので、今後の取組にご注目ください。



堺市長 永藤英機